



秘

俺

R18
ADULT ONLY

谷口

叔母

Ore to Oba tonno
Iimeyakana Yokubou

Presented by
KNUCKLE HEAD

俺は叔母を犯した



いや……

違う。

はあ

はあ

はあ

はあ

コレはお互いの
同意だ……

はあ……

はあ……

はあ……

はあ……

う……

う……

はあ……

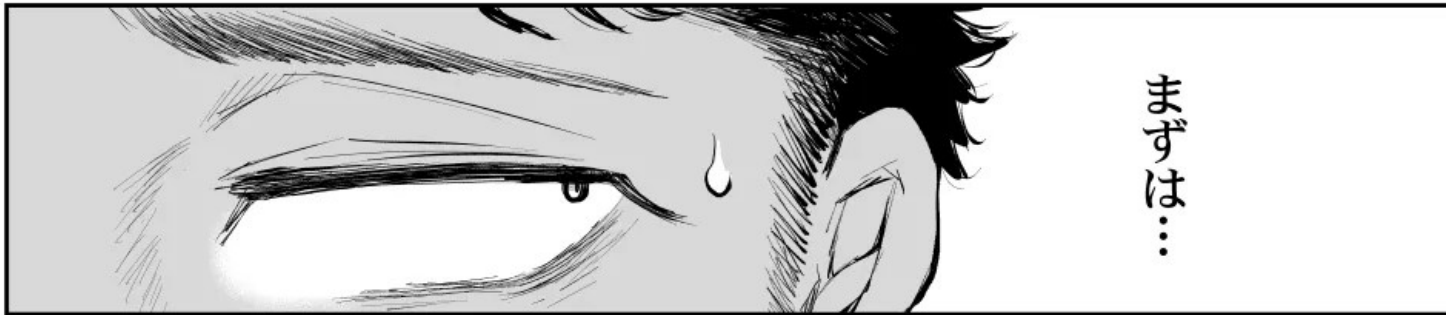






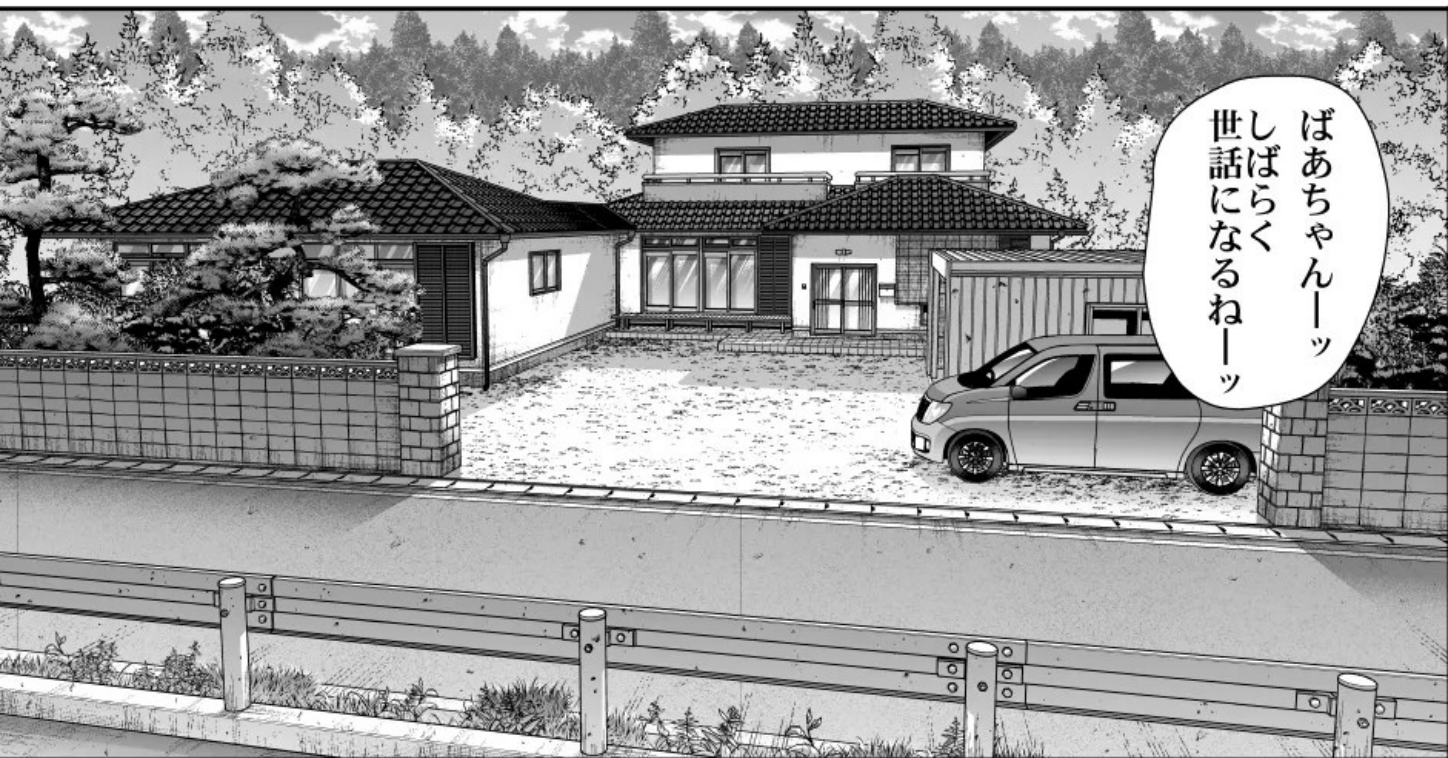














でっかく
なっただねー

この人は
叔母の
栞ちゃん



アンタ
来るって
聞いたから
定時で
帰って来たー

えッ!!
わざわざ…

叔母といつても
お姉ちゃん的な
存在だ。



う、うん…
久しぶり

栞ちゃん
仕事は？



アンタ

部活の件で
兄さんと
喧嘩したん
だっけ？

いや…
喧嘩っーか…

話し合いは
これからで…

も~~~~

あの子も
頑固だから
翔太も大変ねえ



周りからの
人望も厚く

良い大学
良い企業に勤め
結婚もし、
順風満帆で…

荷物
運ぼうか？

けど

俺は
栞ちゃんを
異性として

俺からしたら
お手本の様な
人だ。

凄く……
凄く尊敬
している…



ずっと性的な目で見ていた…







俺は人に
言えない
性癖がある...

歪んでいる





—俺の性癖は—

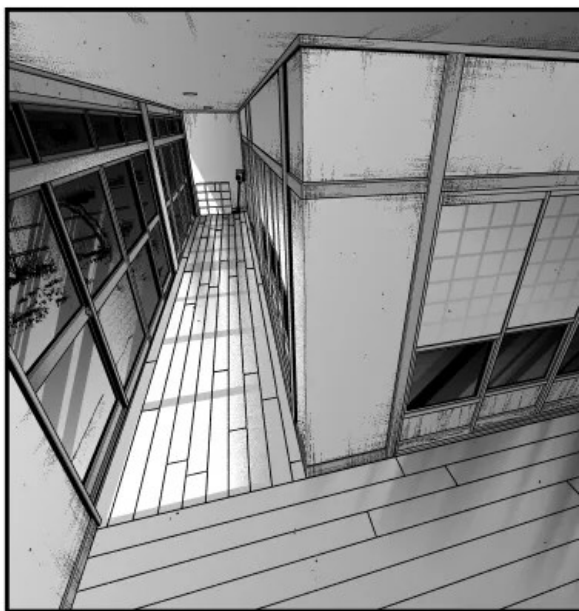


相手を支配しながら



ぐちゃぐちゃに犯すこと

















だめシ

ほろろシ!!

だめシ

カッ

カッ

そシ

……んなに……ッ

カッ

カッ

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ







ハア…

ハア…

ハア…



あ…う…ッ

しょ…ッ

……しよ…う

……たあ

なん…で…
同じなの…？



こ…こんなと…
恥ずかしくて…

だ…
旦那にだつて
言え…なくて…

昔から…

ひ、独りで
抱えてた…



…え？



わ…ッ

わたし…も…



翔太と
同じ…で…

性癖…が…
人と違うの…

ほ…

本当の私は

相手に
従いたい…

もっ…

モノ…
みたいに

…めちゃくちゃに
されたい…願望が…

あるの…





…でも
旦那より
私の方が先に
出世しちゃって

可愛げが
ないって
言われたの…



だから
そのイメージを
崩さない様に

周囲の期待に
応えなきゃって
思ってた

結婚しても
同じで…



…

私…
人に弱い所
見せたり

甘えたり
するのから…
下手だから…



そこから
旦那と上手く
いかなく
なっちゃった…

実家に
来たのも
ただの
現実逃避…



…こんなこと
言って…

…ごめん

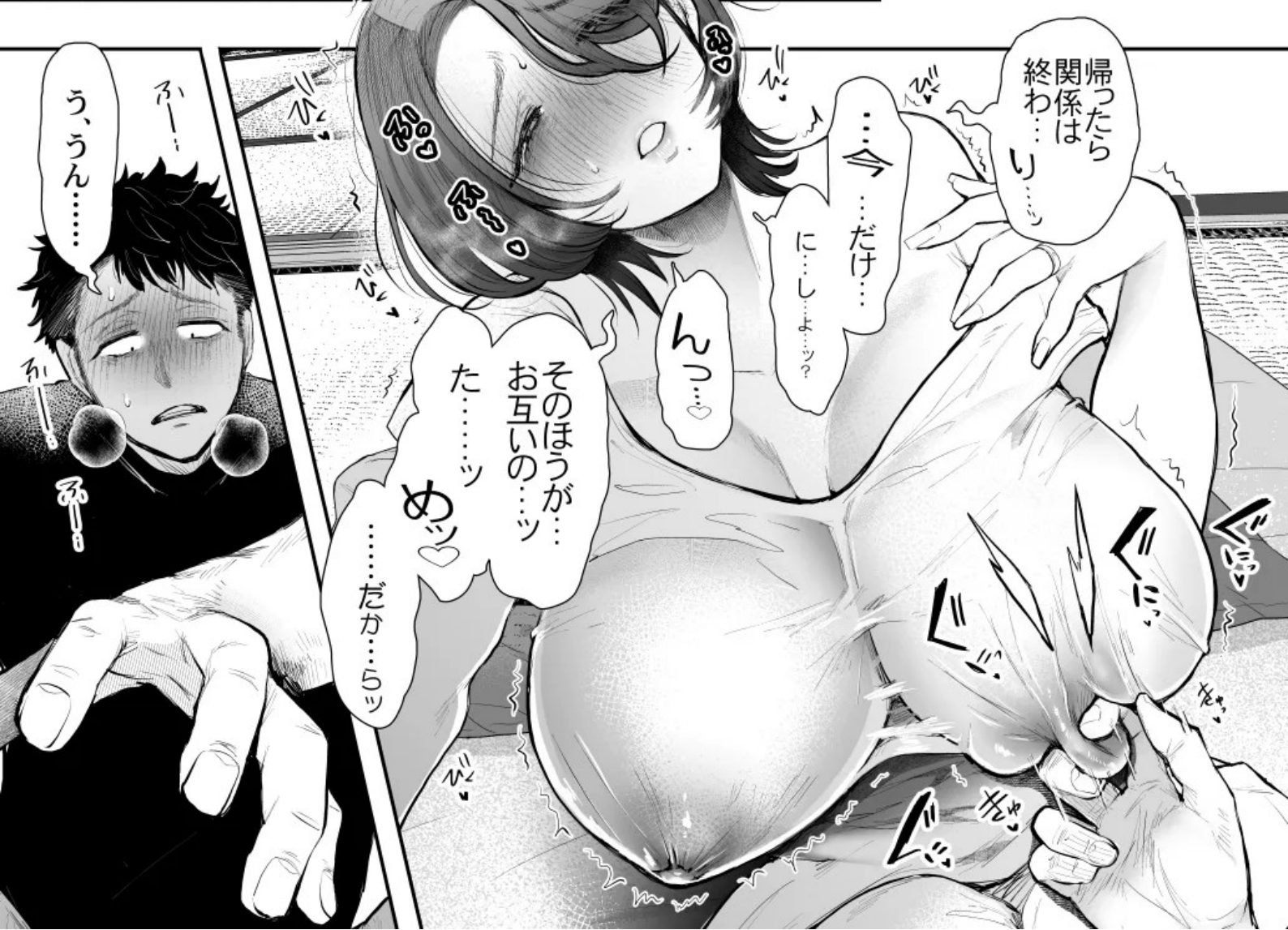
…でも

翔太も同じ
だったんだって
思ったら…
少し気が
楽になった











サッ

うっ

あ…♡

あ♡

あ…♡

葉ちゃんの
おマンコ
使つていいの…

興奮…する…

あ…♡

ふーっ

う…ん…♡

ん…♡

くちっ

くちっ

くちっ

くちっ

ハア

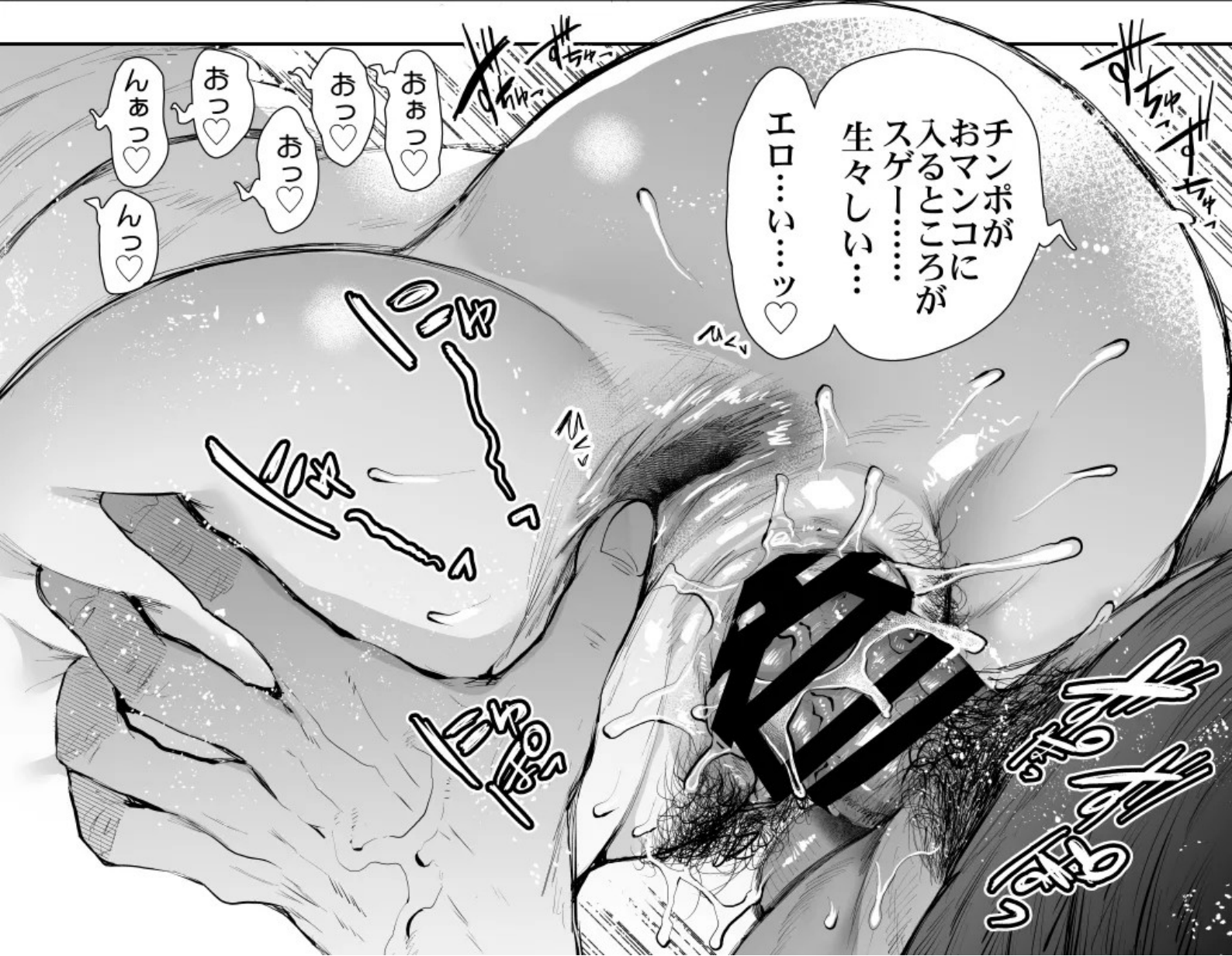
ハア…

ハア

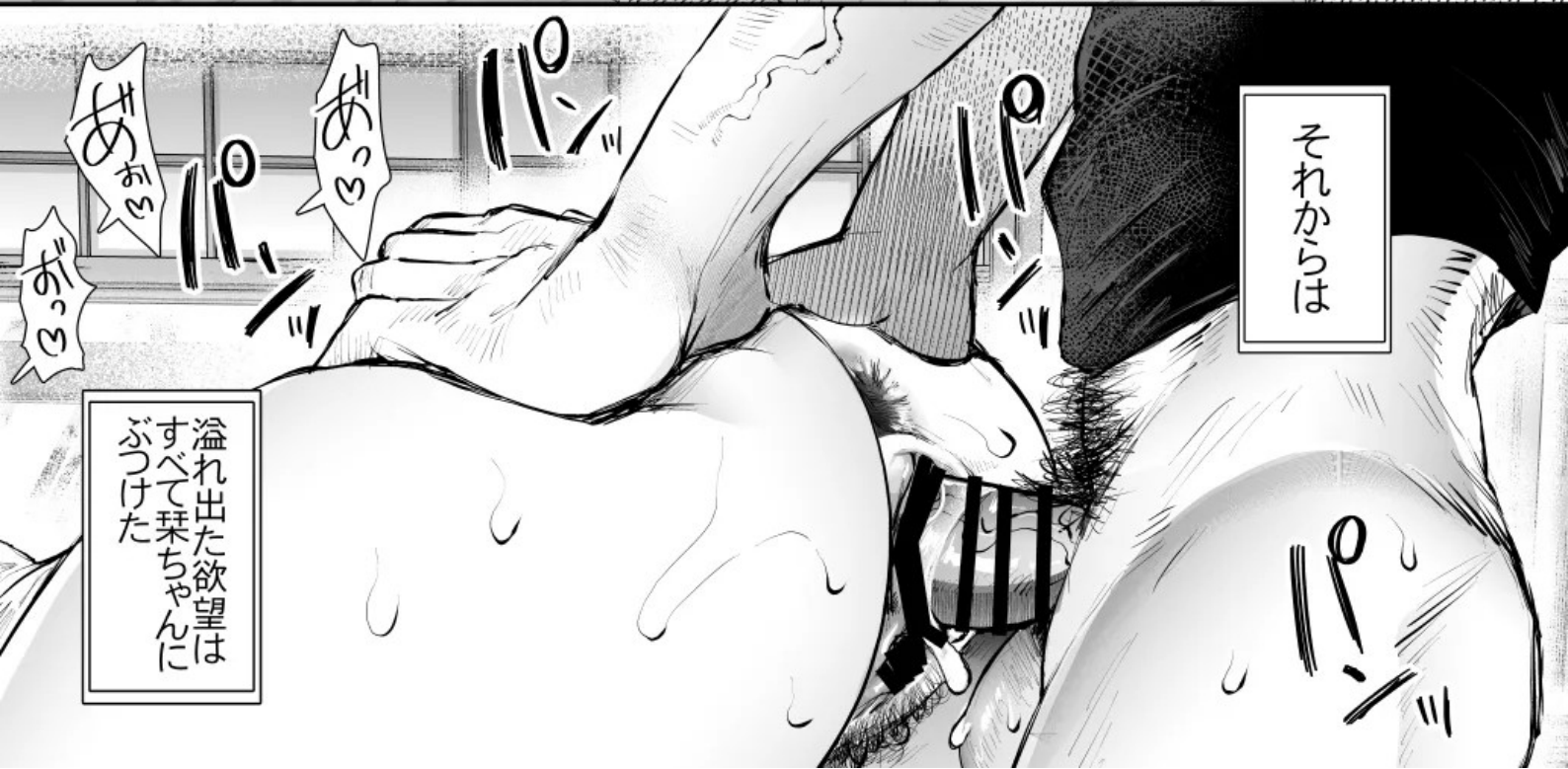
ハア

ちゅる。

ちゅる。







場所も時間も
関係なく

俺の要求を
一切断らず

従順に
してくれる

栞ちゃんが
仕事から
帰ってきたら

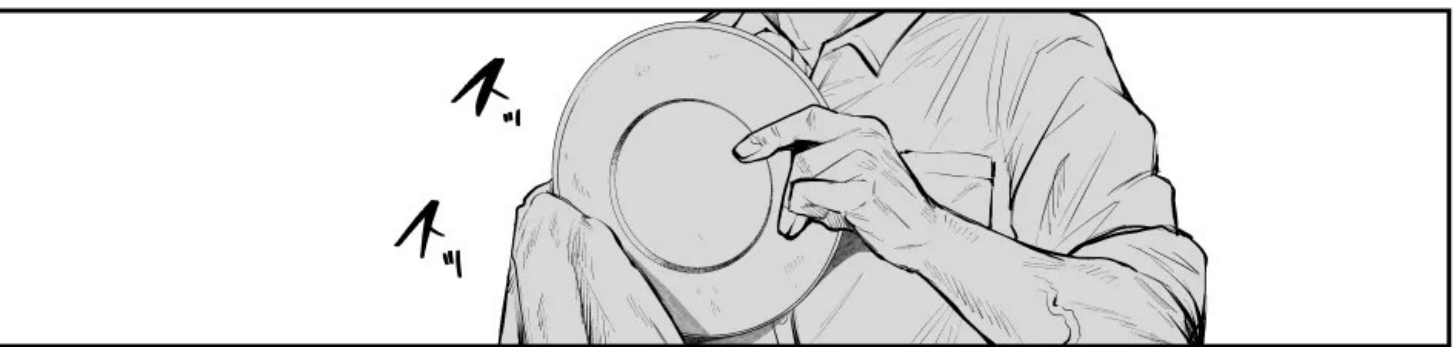
ばあちゃん達の
目を盗んで
ずつとハメてる
状態になった

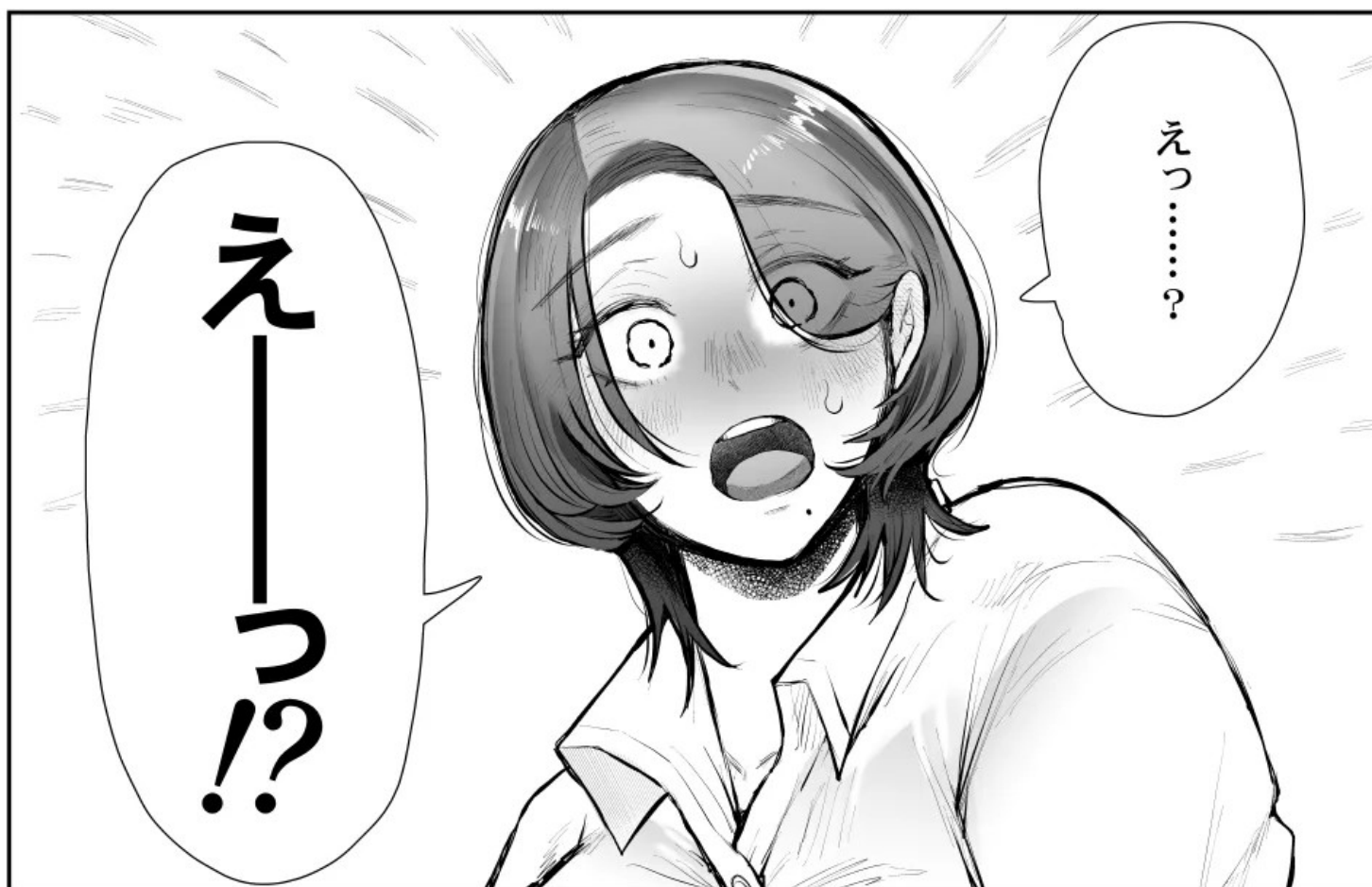
なんでも
従ってくれる
ようになった

栞ちゃんは
俺の言う通りに







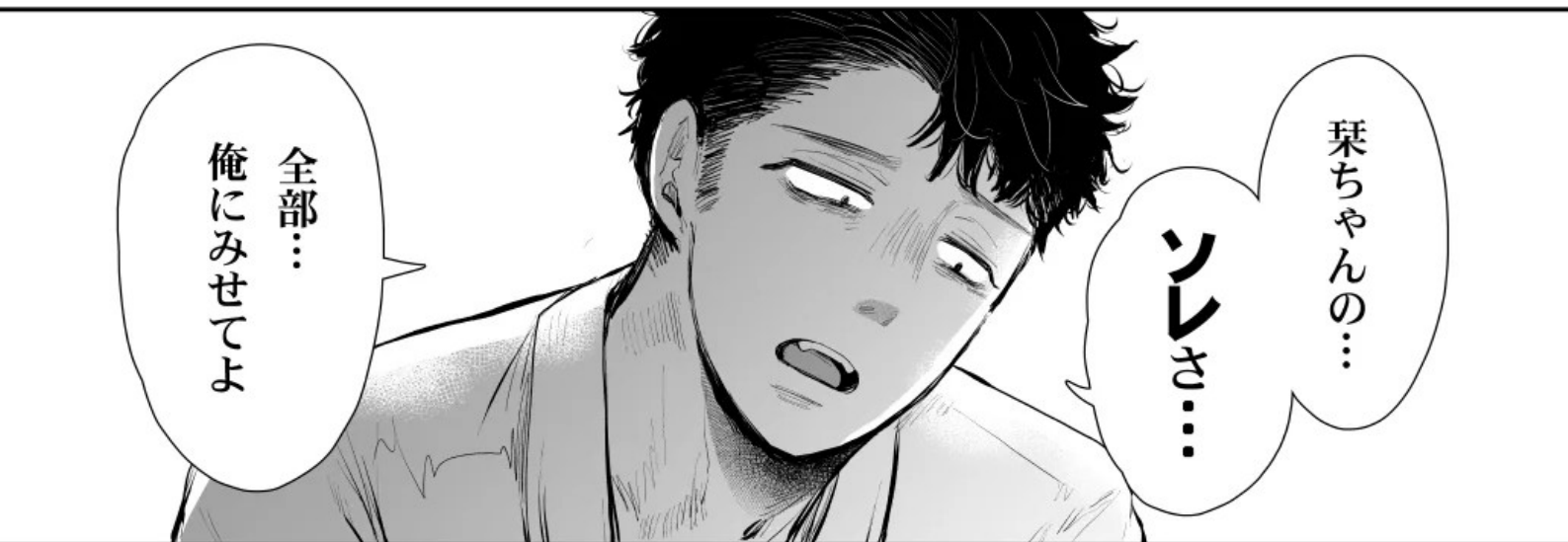






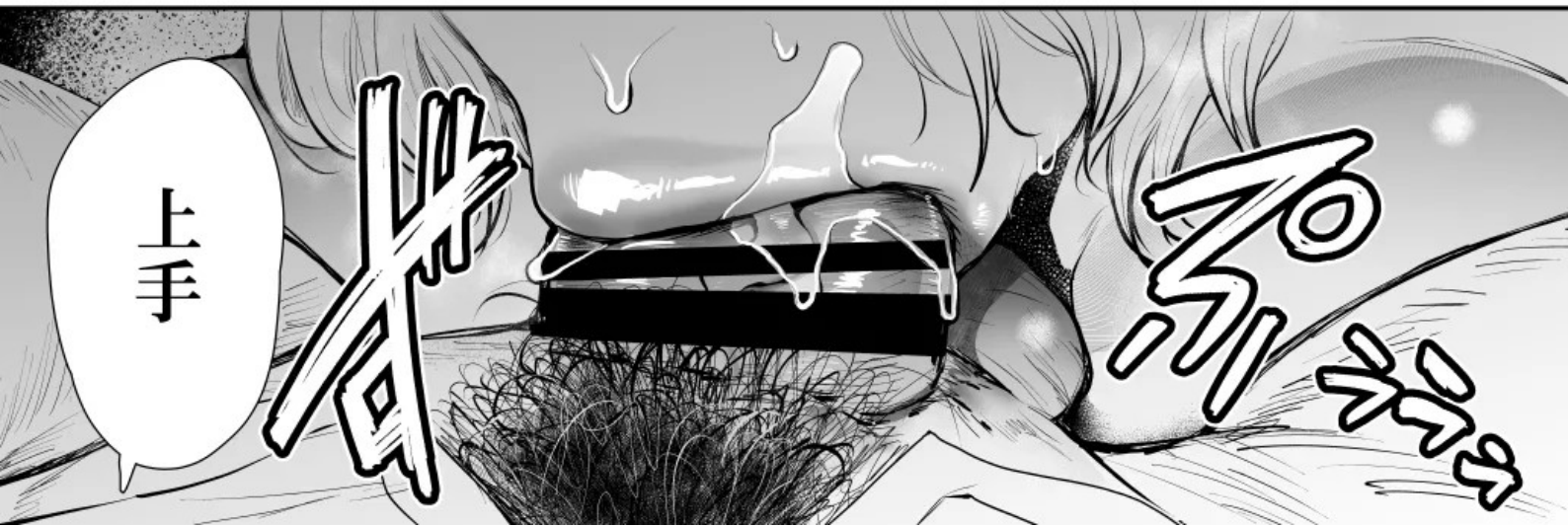












…出す…よ…ッ



……で…るッ

あ……ッ



しおり…ちゃ…ッ

あッ

ビュ

うッ

うッ

きも…ち…い
…イイツ

ビュ

き

き

ッ

ッ

ッ

ッ







理性を捨てて

栞ちゃんが
俺にすがっている



身体が
一気に
高揚した。

栞ちゃんから
誘われるのは
初めてだったから



一方的ではない…



これが初めて
栞ちゃんと
関係性を作れた
行為だった



これ以上は
踏み込んで
いけない……。

あれから
一週間ほどは
葉ちゃんの仕事
が忙しくなり

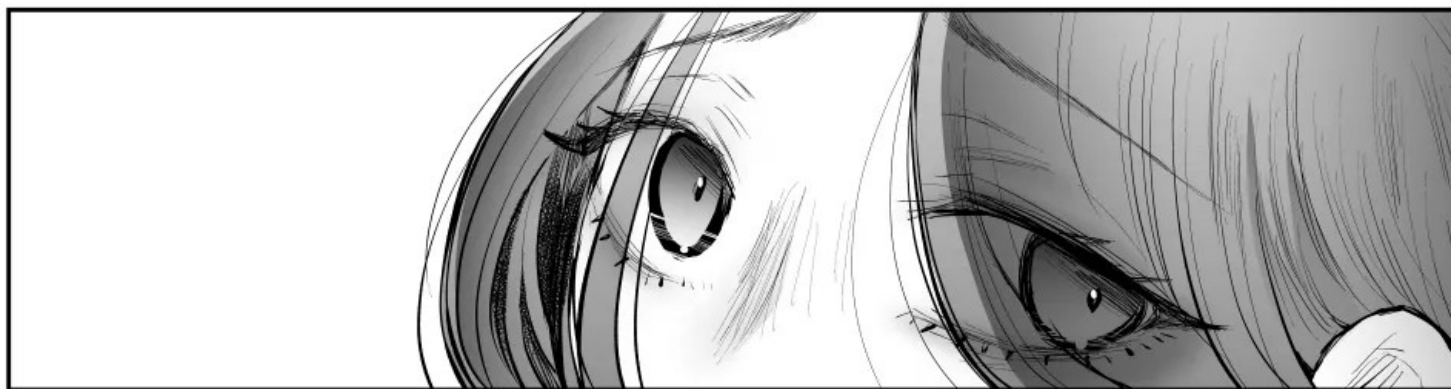
身体を
重ねる事は
しなかった

というより



気が引けた















あんな、
そっちにいて
栞ちゃんに
だいぶ面倒みて
もらっただんでしょー

……ッ
う……ん……ッ



よかったわねー
ついでに
進路の話とかも
相談のつて
もらいなよー

……うっ
んっ……♡

そ……お
だ……ね……ッ♡

……っ？
あんな、
調子悪いの？

……いや
明日の事
考えたら……
緊張してる……
だけ……

んおっ♡

んおっ♡

んおっ♡

んおっ♡

あーそう
じゃあ、
明日帰って
おいでね

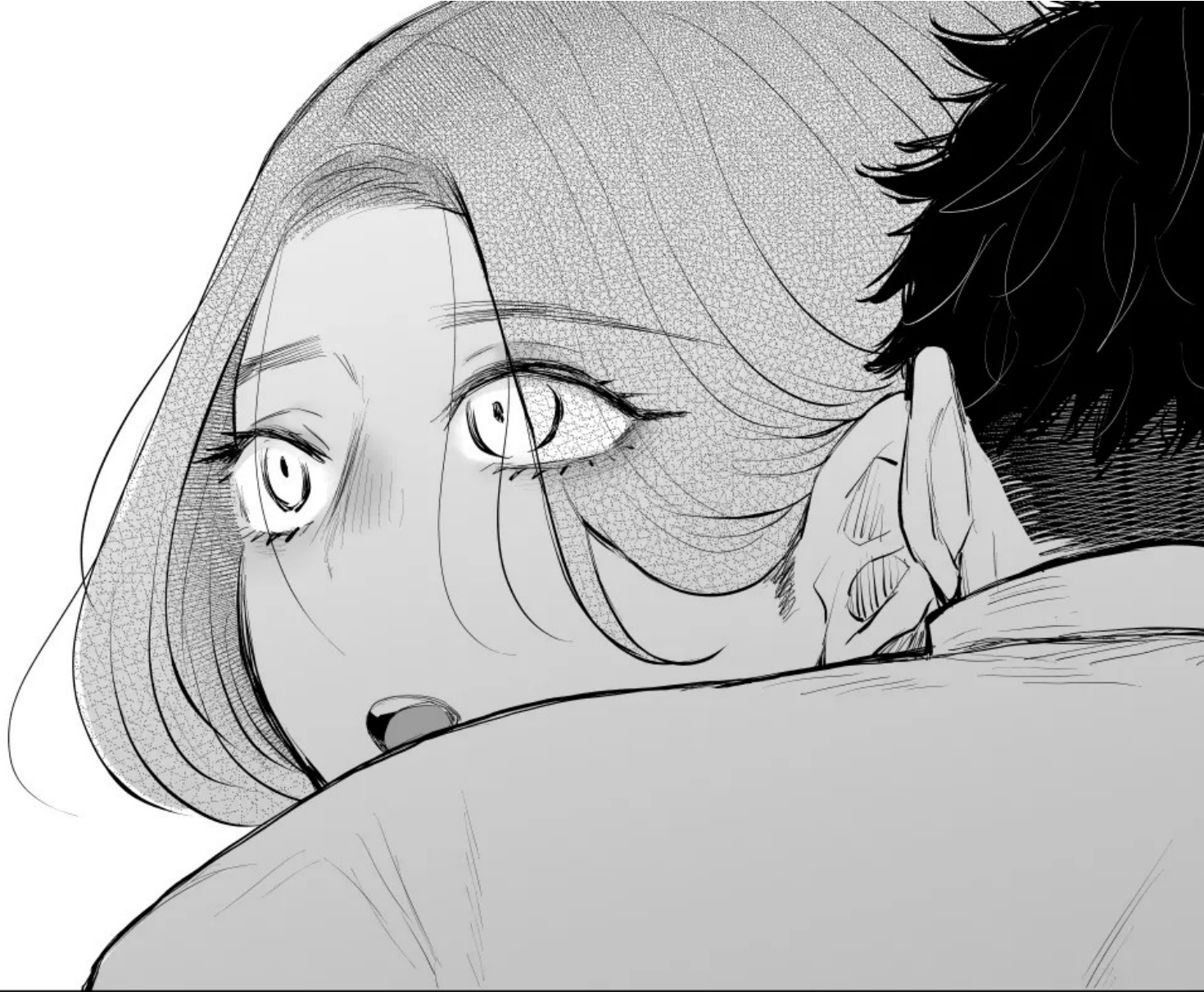
うん……
じゃあ……



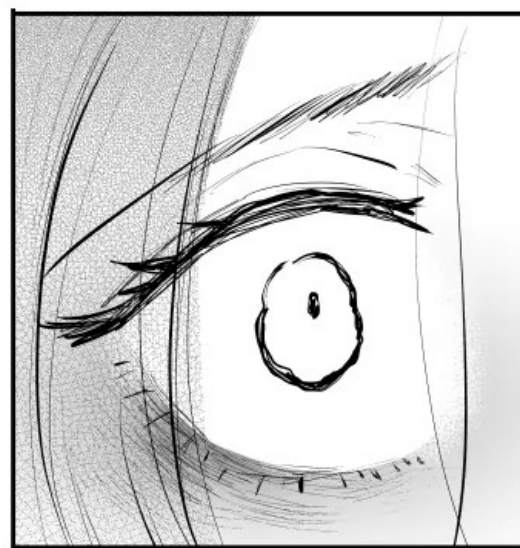




















翔太は……ッ

ほんとう……の
くれたしにして
ッ

：見わほ
かてたんとうの
からくしを
♡た：の

ありがとう♡

くみわ
つたしを
れてけ
て：

は♡

は♡は♡

は♡

は♡

は♡

は♡

は♡

す
す
す

す
す
す

す
す
す

す
す
す













ううん…
こちらこそ



でね？

私を所有して
くれますか？



次はいつ…

ねこという生き物は
なぜ高い所から
わざわざ寝ている人の
腹の上に落ちて
くるのだろうか。



2024. 12. 3 発行

発行者

しょむ
(サークル KNUCKLE HEAD)

印刷所

同人誌印刷.com

連絡先

syomu_3@yahoo.co.jp

X

<https://x.com/syomu2>

pixiv

<http://www.pixiv.net/member.php?id=3915694>

FANTIA

<https://fantia.jp/fanclubs/15674>

FANBOX

<https://www.pixiv.net/fanbox/creator/3915694>

この本は18歳未満の方の閲覧は禁止です
また、無断転載 複製などの行為はご遠慮ください

秘俺
叔母
欲望
王



Ore to Oba tonō
Himeyakana Yokubō

